

令和2年度(2020年度)

病害虫発生予察情報 第18号

9月月報

北海道病害虫防除所 令和2年(2020年)10月21日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

ー『高温・並雨・寡照』気圧の谷や湿った気流の影響を受けやすく寡照。上旬は記録的高温ー

この期間の天気は、上旬は太平洋側では曇りや雨の日が多かったが、日本海側やオホーツク海側では晴れた日が多かった。また、暖かい空気に覆われたため旬平均気温は記録的に高く、各地で真夏日となった。中旬は気圧の谷や湿った気流の影響により全道的に曇りや雨の日が多く、太平洋側では日照時間の少ない状態が続いた。下旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日もあったが、気圧の谷や湿った気流の影響により、オホーツク海側では曇りや雨の日が多かった。気温は上旬は平年よりかなり高く、中旬と下旬は高く、月平均気温はかなり高かった。降水量は上旬は平年より少なく、中旬は多く、下旬は少なく、月降水量は平年並だった。日照時間は中旬はかなり少なく、月間日照時間は少なかった。なお、1961年の統計開始以降、日本海側、オホーツク海側及び北海道地方の上旬の平均気温は最も高かった。

上旬 1日：湿った気流の影響により広い範囲で曇りで太平洋側を中心に雨の降った所もあったが、晴れた所もあった。日降水量は登別市札内町で60.0mmなど。2～3日：高気圧の張り出しの中となって日本海側とオホーツク海側では晴れたが、太平洋側では雨の降った所もあった。日降水量は3日に白老町森野で97.5mmなど。4～5日：前線の通過により広い範囲で雨が降ったが、晴れた所もあった。6～7日：高気圧の張り出しの中となって日本海側やオホーツク海側では晴れたが、太平洋側では湿った気流の影響により曇りで雨の降った所もあった。8日：高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れたが、前線の影響により雨の降った所があった。9日：南からの湿った気流の影響により、太平洋側でははじめ雨の降った所があったが、その後は高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れた。10日：前線や気圧の谷の影響で全道的に雨が降った。日降水量は福島町千軒で59.0mmなど。

中旬 11日：気圧の谷や湿った気流の影響により概ね曇りで雨の降った所が多かった。日降水量は蘭越で58.0mmなど。12～13日：気圧の谷や湿った気流の影響で、日本海側南部や太平洋側では雨が降ったが、日本海側北部やオホーツク海側では晴れた所があった。日降水量は12日に蘭越で55.5mmなど。14日：気圧の谷や湿った気流の影響で概ね曇りで雨の降った所が多かった。15～16日：低気圧を含む気圧の谷や湿った気流の影響で広い範囲で雨が降ったが、晴れた所もあった。日降水量は15日に登別市カルルスで101.0mm、16日に白老町森野で86.0mmなど。17日：気圧の谷の影響により曇りで広い範囲で雨が降った。18日：低気圧を含む気圧の谷の影響により全道的に雨が降った。日降水量は利尻空港で88.5mmなど。19～20日：気圧の谷の影響で日本海側を中心に雨が降ったが、晴れた所も多かった。

下旬 21日：気圧の谷の影響で広い範囲で雨が降ったが、晴れた所も多かった。日降水量は天塩で63.5mmなど。22日：高気圧の張り出しの中となって晴れた所が多かったが、気圧の谷の影響で太平洋側を中心に雨の降った所もあった。日降水量は登別市札内町で59.5mmなど。23日：気圧の谷や湿った気流の影響により曇りで太平洋側西部を中心に雨が降ったが、晴れた所もあった。日降水量は函館市川汲で82.0mmなど。24日：高気圧の張り出しの中となって概ね晴れた。25日：低気圧や湿った気流の影響により太平洋側を中心に雨が降ったが、日本海側北部やオホーツク海側では晴れた所が多かった。26日：低気圧や湿った気流の影響により全道的に雨が降った。日降水量は標津町糸櫛別で69.5mmなど。27日：低気圧を含む気圧の谷の影響により曇りでオホーツク海側を中心に雨の降った所が多かった。日降水量は枝幸町歌登で55.5mmなど。28日：気圧の谷の影響でオホーツク海側を中心にはじめ雨の降った所があったが、次第に高気圧に覆われて晴れた所が多かった。29～30日：高気圧の張り出しの中となって晴れた所が多かった。

気候表(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間・降雪量は比(%))を示す)

	気温偏差℃	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22地点平均	+1.7	か高	78	並	83	少
日本海側10地点平均	+2.0	か高	68	少	90	少
オホーツク海側4地点平均	+1.8	か高	59	少	86	少
太平洋側8地点平均	+1.3	高	99	並	74	か少

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稲

1. いもち病（穂いもち・節いもち） 発生量 やや少

予察田の「きらら397」における穂いもちの発生量は比布町では平年よりやや少なく、岩見沢市では平年より少なかった。節いもちの発生量は、比布町では平年並、岩見沢市では平年より少なかった。

予察田における水稲の穂いもち発生状況

地点	品種名	発病穂率(%)				平年数
		9月2半旬		9月4半旬		
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	10.1	43.9	-	-	9
	ななつぼし	24.3	61.4	-	-	9
比布町	きらら397	56.3	68.4	-	64.6	10
	ななつぼし	45.4	55.1	-	68.7	4
北斗市	きらら397	-	48.4	-	62.0	10

注1)各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

注2)-:調査不能または成熟期を迎えたため調査終了

予察田における水稲の節いもち発生状況

地点	品種名	発病茎率(%)				平年数
		9月2半旬		9月4半旬		
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	0.2	14.1	-	-	9
	ななつぼし	0.5	30.7	-	-	9
比布町	きらら397	12.2	10.6	-	18.3	10
	ななつぼし	5.6	6.9	-	15.5	4
北斗市	きらら397	-	14.2	-	25.5	10

注1)各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

注2)-:調査不能または成熟期を迎えたため調査終了

2. 紋枯病 発生量 やや多

予察田における発生量は、北斗市では平年より多く、岩見沢市では平年よりやや少なかった。

予察田における水稲の紋枯病発生状況

地点	品種名	発病茎率(%)				平年数
		9月2半旬		9月4半旬		
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	12.9	18.8	-	23.8	9
北斗市	きらら397	38.0	24.1	-	18.9	10

注1)各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

注2)-:調査不能または成熟期を迎えたため調査終了

3. ニカメイガ 発生量 やや多

予察田における被害茎率は、長沼町で平年より高かった。北斗市では被害が認められなかった。

予察田におけるニカメイガによる被害茎率(%)

長沼町		北斗市	
本年	平年	本年	平年
16.6	5.1	0	0.0

注) 平年数: 長沼町は8年、北斗市は10年。

4. アカヒゲホソミドリカスミカメ 発生量 並

予察灯による成虫誘殺数は、長沼町で平年よりやや少なく、比布町、北斗市では平年並であった。

予察田における成虫のすくい取り虫数は、比布町で平年より多く、長沼町および北斗市では平年並であった。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察灯による誘殺数および予察田における水田すくい取り虫数

月・半旬	予察灯誘殺数						水田すくい取り虫数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	13.5	98.1	23	22.2	2	30.7	0	4.4	5.0	0.3	5.0	3.3
2半旬	35.2	64.0	28	39.1	60	20.6	0	0.9	0	1.1	0	3.8
3半旬	5	24.2	4	11.6	2	2.3	0	1.1	10.0	1.9	0	2.3
4半旬	0	8.3	9	25.3	4	2.3	2.5	0.4	0	0.8	-	1.0
5半旬	1	0.8	0	0	0	0.2	-	0.2	0	2.5	-	0.4
6半旬	0	4.5	0	0	0	0.1	-	0.2	0	-	-	0
平年数	10		10		10		8		10		10	

注) - : 調査不能または収穫期を迎えたため調査終了

B. 豆類

1. ベと病(大豆) 発生量 並

長沼町の予察ほにおける発生量は、平年並であった。

予察ほにおける大豆のべと病発生状況

地点	品種名	発病度				平年数
		9月2半旬		9月4半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	トヨムスメ	25.0	25.7	25.0	28.5	10

2. アズキノメイガ(小豆) 発生量 やや少

予察ほにおける被害株率は、芽室町で平年よりやや高く、長沼町で平年よりやや低く、訓子府町では平年より低かった。被害莢率は、芽室町で平年よりやや高く、長沼町および訓子府町で平年よりやや低かった。

予察ほにおけるアズキノメイガの被害状況

地点	品種	被害株率(%)		被害莢率(%)		平年数
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	しゅまり	54.0	76.0	1.6	6.2	10
芽室町	きたのおとめ	50.0	39.1	3.5	1.7	10
訓子府町	きたのおとめ	12.0	49.2	0.7	2.5	10

C. てんさい

1. 褐斑病 発生量 並

予察ほにおける発生量は、長沼町および芽室町の「あまいぶき」では平年並、訓子府町の「リッカ」では平年よりやや少なかった。

予察ほにおけるてんさいの褐斑病発生状況

地点	品種名 (褐斑病抵抗性)	発病度						平年数
		9月2半旬		9月4半旬		9月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	あまいぶき(“弱”)	55.2	73.9	84.8	85.2	97.4	92.1	10
	ライエン(“やや強”)	54.4	54.2	71.2	66.2	84.0	77.0	5
芽室町	あまいぶき(“弱”)	70.8	74.4	82.0	84.4	91.6	93.5	8
	ライエン(“やや強”)	53.2	51.5	62.4	58.8	77.6	73.0	5
	スタウト(“強”)	51.2	55.0	60.0	66.8	76.4	81.3	8
訓子府町	リッカ(“やや強”)	44.8	66.6	54.0	76.2	69.6	83.8	10

2. ヨトウガ(第2回) 発生量 やや多

予察ほにおけるヨトウガ第2回幼虫による食害程度は、いずれの地点においても平年より高かった。一般ほにおける9月3半旬の巡回調査によると、被害株率50%以上となった地点はなかった。

予察ほにおけるヨトウガの食害程度

月・半旬	食害程度					
	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	71	53.0	58	37.4	50	39.9
2半旬	75.5	57.6	65	41.6	58	44.1
3半旬	89.5	63.2	68	44.4	70	49.9
4半旬	94.5	65.8	70	47.8	80	56.5
5半旬	95	67.6	70	52.0	89	59.8
6半旬	97	71.1	72	53.5	89	63.1
平年数	10		10		10	

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

普及センター	地点数	9月3半旬		普及センター	地点数	9月3半旬			
		本年	前年			本年	前年		
空知	南東部	1	4.0	0	網走	本所	10	8.0	3.2
石狩	本所	4	17.3	10.5		清里	6	14.7	6.8
後志	本所	3	6.7	8.0		網走	2	5.0	0
胆振	本所	4	14.5	7.0		美幌	5	0.4	1.6
	東胆振	3	12.0	12.7		遠軽	3	20.7	10.9
上川	富良野	3	6.7	8.7	十勝	本所	7	3.6	1.8
	大雪	3	0	0.7		東部	6	5.0	9.0
	士別	2	28.0	0		東北部	4	19.5	44.0
	名寄	2	22.0	4.0		北部	3	0.7	0.7
西部						3	2.0	3.0	
					南部	3	7.3	0	

D. あぶらな科野菜

1. 軟腐病（だいこん） 発生量 やや多

長沼町の予察ほにおける軟腐病の発生は平年よりやや多かった。

予察ほにおけるだいこんの軟腐病発生状況

地点	作物名	品種名	作型	発病株率(%)						平年数
				9月2半旬		9月4半旬		9月6半旬		
				本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	だいこん	耐病総太り	夏播き	0.5	1.7	4.5	2.7	6.5	3.0	10

2. モンシロチョウ 発生量 やや少

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町では平年よりやや少なかった。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	1	15.6	-	10.7
2半旬	0	9.4	-	14.4
3半旬	4	17.1	-	14.6
4半旬	7	34.0	-	18.5
5半旬	16	25.6	-	13.1
6半旬	41	26.1	-	15.7
平年数	10		10	

注1) 10株あたりの寄生虫数。

注2) -は調査不能

3. コナガ 発生量 並

フェロモントラップによる成虫誘殺数は、長沼町で平年より多く、比布町、芽室町および訓子府で平年並、北斗市で平年よりやや少なかった。滝川市では誘殺が認められなかった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町で平年より多かった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町		滝川市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	8	21.5	3	3.8	2	4.6	2	0.7	2	2.0	0	0.6
2半旬	61	19.1	1	0.8	2	5.0	0	0.2	1	1.0	0	0.4
3半旬	48	7.2	1	0.8	1	5.5	0	0.1	0	0.7	0	0
4半旬	26	10.5	3	0.4	0	5.4	0	0	0	1.2	0	0.4
5半旬	40	6.8	0	2.8	0	3.9	1	0.4	0	0.5	0	0
6半旬	34	5.8	6	4.0	1	3.1	1	0	0	0.7	0	0.4
平年数	10		5		10		10		10		6	

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺。比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺。訓子府町は雑草地。

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	9	7.6	-	12.1
2半旬	6	7.2	-	9.0
3半旬	7	6.7	-	2.0
4半旬	13	4.9	-	4.3
5半旬	33	3.7	-	4.3
6半旬	14	3.5	-	3.0
平年数	10		10	

注1) 10株あたりの寄生虫数。

注2) -は調査不能

E. りんご

1. 黒星病 発生量 やや多 <4月17日付け注意報第2号>

予察園における発生量は、長沼町（無防除）の「昂林」、「つがる」および「ふじ」のいずれの品種とも平年より多かった。一方、余市町の予察園（慣行防除）では発生が認められていない。

巡回調査の報告によると、一般園では発生が認められていない。

予察園におけるりんごの黒星病発生状況

地点	品種名	病葉率(%)		発病度		平年数
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	昂林	100.0	51.6	96.5	27.3	10
	つがる	100.0	32.5	97.6	15.2	10
	ふじ	100.0	77.3	99.5	42.7	3
余市町(慣行防除)	昂林	0	-	-	-	-

注1) 長沼町は9月6半旬、余市町は9月第4週のデータ

注2) - : 調査対象外または平年値なし

一般園におけるりんごの黒星病巡回調査結果(9月3半旬)

普及センター		地点数	病葉率(%)	
			本年	前年
後志	北後志	2	0	0.9
胆振	本所	1	0	0
渡島	本所	4	0	1.3
留萌	南留萌	1	0	0

2. 斑点落葉病 発生量 やや多

長沼町の予察園（無防除）の「王林」における発生量は平年よりやや多かった。余市町の予察園（慣行防除）では発生が認められなかった。

一般園における巡回調査の報告によると、渡島および留萌地方の感受性品種（デリシャス系等）で発生が認められている。

予察園におけるりんごの斑点落葉病発生状況

地点	品種名	病葉率(%)		平均病斑数(個/葉)		平年数
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林(新梢)	13.1	8.2	0.3	0.2	9
	王林(徒長枝)	11.2	5.4	0.2	0.1	9
余市町(慣行防除)	昂林	0	-	-	-	-

注1) 長沼町は9月6半旬、余市町(慣行防除)は9月4週目の調査結果

注2) - は調査対象外または平年値なしを示す

一般園におけるりんごの斑点落葉病巡回調査結果(9月3半旬)

普及センター		地点数	病葉率(%)	
			本年	前年
後志	北後志	2	0	4.8
胆振	本所	1	0	0
渡島	本所	1	18.0	0
留萌	南留萌	1	61.3	61.0

3. モモシクイガ 発生量 並

予察園におけるフェロモントラップによる誘殺数は、長沼町で平年よりやや多く、余市町Aおよび余市町Bでは平年よりやや少なかった。

一般園におけるフェロモントラップによる誘殺数は、岩見沢市および壮瞥町で平年よりやや多く、その他の地点では平年並であった。

予察園におけるモモシクイガの産卵数およびフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	産卵数		被害果率(%)		フェロモントラップ誘殺数					
	長沼町				長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	20	68.2	100	100.0	49	30.1	1.9	15.1	10.5	23.2
2半旬	-	31.4	-	100.0	25	24.9	2.2	5.9	4.5	12.1
3半旬	-	10.6	-	100.0	8	6.3	2.5	2.2	1.9	5.1
4半旬	-	2.3	-	100.0	0	0.5	0	1.5	0.6	2.8
5半旬	-	-	-	-	0	0.3	0	1.3	0.4	0.3
6半旬	-	-	-	-	0	0	0	0.8	0	0.1
平年数	10		10		10		10		10	

注1) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

注2) 産卵数は100果調査。

注3) -は落果により調査終了。

一般園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		伊達市		壮瞥町		七飯町		旭川市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	6.8	1.5	7.5	6.7	9.4	16.4	20.6	7.4	18.3	14.7	14.3	8.6
2半旬	2.2	1.3	2.7	2.7	6.4	9.2	12.4	4.4	16.3	6.6	4	5.2
3半旬	0.6	0.6	0	0.4	4.4	5.5	0	1.0	1.3	3.0	0	0.8
4半旬	0	0.1	0	0	0	4.5	0.5	0.7	0.5	1.6	0	0.2
5半旬	0	0	0	0	0	0.3	0.5	0.1	0	1.1	0	0
6半旬	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0.3	0	0
平年数	10		10		10		10		10		10	

注) 岩見沢市の値は2地点の平均。

4. ハダニ類 発生量 少

予察園におけるリンゴハダニは、いずれの地点においても発生が認められなかった。ナミハダニは、余市町Bでは発生が平年より少なかった。長沼町および余市町Aでは発生が認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

月・半旬	リンゴハダニ						ナミハダニ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	0	5.8	0	0.7	0	0	0	3.1	0	1.3	0	0.3
2半旬	0	0.9	0	0.8	0	1.0	0	0.5	0	3.2	0	4.2
3半旬	0	1.7	0	0.2	0	0.4	0	0.7	0	0.2	0	2.8
4半旬	0	0.2	-	0	-	3.3	0	0.1	-	3.4	-	0.4
5半旬	0	0.1	0	0.5	0	0	0	0.2	0	0.3	0	0
6半旬	0	0	0	0.1	0	0.6	0	0	0	0.7	0.2	1.4
平年数	10		10		10		10		10		10	

注1) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

注2) 30葉あたりの寄生数。

5. キンモンホソガ 発生量 やや少

予察園における被害葉率は、長沼町では平年よりやや高かった。余市町Aおよび余市町Bでは被害が認められなかった。予察園におけるフェロモントラップによる成虫誘殺数は、長沼町で平年より多く、余市町Bで平年並、余市町Aでは平年より少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、札幌市、旭川市および増毛町で平年並、岩見沢市、石狩市、壮瞥町および七飯町では平年より少なかった。伊達市では誘殺が認められなかった。

予察園におけるキンモンホソガの被害葉率およびフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	被害葉率(%)						フェロモントラップ誘殺数					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	19	19.3	0	0.6	0	0.1	189.0	29.1	17.0	185.6	93.0	76.2
2半旬	24	22.1	0	1.0	0	0.3	184.0	33.8	16.8	137.4	119.4	82.1
3半旬	57	24.2	0	1.0	0	0.3	143.0	28.0	16.3	121.1	125.6	78.3
4半旬	40	27.4	-	1.1	-	0.5	18.0	9.0	4.4	77.4	77.5	69.2
5半旬	53	33.3	0	0.3	0	0.5	16.0	2.9	2.6	42.2	48.8	34.9
6半旬	57	36.0	0	0.6	0	0.3	2.0	1.0	0	15.0	4.7	18.5
平年数	10		10		10		10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		石狩市		伊達市		壮瞥町		七飯町		旭川市		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	1.8	46.4	1.8	3.9	0	60.4	0	12.8	1.9	466.8	0.5	34.3	1.1	0.6	138	409.0
2半旬	0.3	14.2	0.7	2.2	2	142.8	0	19.3	1.6	463.1	1.8	69.3	1.6	1.8	230	406.2
3半旬	0.3	9.1	3	1.7	10	126.6	0	15.7	1.3	355.6	6.3	94.2	0	0.8	563	512.3
4半旬	0.3	3.2	0	0.6	3	140.5	0	2.7	1.3	246.3	4.9	94.8	0	0.3	212.5	399.6
5半旬	0	1.6	0	0.3	1	59.9	0	2.9	1	93.4	2.5	44.7	0	0.2	148.6	244.0
6半旬	0	1.5	0	0.2	7	22.6	0	0.4	0	44.7	1.1	21.6	0	0	52.9	126.6
平年数	10		10		6		10		10		10		9		10	

注) 岩見沢市の値は2地点の平均。